

聴覚障害を持つ少女の自立を描く乃南アサのミステリー小説「鍵」を舞台化。

父の葬儀の日、高校二年生の西麻里子はカバンに押し込まれた謎の鍵を見つける。しかし、母の死後、聴覚障害を持つ妹を疎ましく思うようになった俊太郎とそんな二人を見守る姉の秀子に、麻里子は鍵のことを相談できずにいた。そんな西家の近所では、連続通り魔事件が発生し、麻里子の親友も被害にあう。次第にエスカレートしていく通り魔事件はついに殺人事件へと発展していく。「強くなりなさい。麻里子は聞こえない以外、誰とも何も違わない。」母の言葉を胸に、一人で事件を調べだす麻里子だったが…。

キャスト

西麻里子



安達 紗弥
(イズム)

西秀子



中村 容子

東雅美



横 あかね

平野沙織



あらいくみ

本日はご来場頂きありがとうございます。まさかの女子高生役！ビックリしました。今回の一番の見どころです（笑）素敵で個性的な役者のみなさん、脚本、演出に恵まれ稽古も楽しみながらくさんの事を学ばせて頂きました。魂を込めて麻里子を演じさせて頂きました。どうぞ楽しんでご覧ください！

今回の公演は、不思議な縁がありまして本公演に関わらせて頂きました。役者を含めて全員が初めてお会いする方ばかりで、当初はどうなるのか期待と不安で一杯でした。今では、良い出会いと面白い作品に巡り会えたこと、本当に幸せです。その幸せを胸に、皆様に楽しんで頂けるように頑張ります。

いろんな方との出会いがあって、いろんな経験をさせてもらって、人生はいろいろな連続です。やらずに後悔するほうが悔いが多いから、どんなに無茶でも分かっていても、今できる最大限の努力をもって行動する。悔しいこと辛いこと、いっぱいあるけれど、前を向いて自分らしく、どんなときも笑顔で、日々精進！

私の役には「何やってんだー！」とツッコミたいところが山ほどあるのですが、今思えば、その明るさが、彼女なりの「やさしさ」なのかもしれません。麻里子ちゃんに包まれていた「やさしさ」のように、やさしさあふれる素敵な環境でお芝居をさせていただけると、本当に嬉しく思います。力いっぱい、笑顔いっぱいがんばります！どうぞよろしくお願いします。

まさか。自分が再びステージに立つ日が来るとは！27年ぶりにキャストの一人として参加させて頂きました。お見苦しいところも多々あったかと思いますが、仲間とともに一つのモノを創りあげて行くのは、やはり楽しいですね。どうか、最期まで暖かく見守って頂ければ幸いです。

久しぶりに劇に関わることができ、とても楽しかったです！やっぱり劇っていいですね。昔に比べてセリフを覚えるのに異常に時間がかかることに驚きました。そしてすぐに忘れる。今年の目標は大舞台にも負けず、穏やかに生きること。頑張ります！楽しく過ごしたいなあ。今日は、楽しんで観て頂けると幸いです。

お芝居を始めた時から、いつか大きな舞台に立ちたいと思っていました。出演が決まったときは本当に嬉しく、ずっと本番を楽しみにしてきました。素敵な劇と、思っていただけよう大迫という役に全力を尽くします。僕はこの春に大学を卒業する予定です。社会人になっても積極的に舞台に立ちたいと思います。

さいとうつかさ
(いわゆるえんげきの会)



西俊太郎

斎藤 元昭



川村有作

サル吉



鎌田明彦

牧山 航己



大迫達司

和太鼓奏者 山岡孝平

プロフィール

平成5年3月9日、札幌生まれ神戸育ち。太鼓を始めたのは、小学校一年の時。

18歳の頃より、介護施設、障害者施設など、慰問活動開始。

メッセージ

ハンディーを持って生まれた僕は、ミルクを飲む力もなく、心房中隔欠損の心臓病を持って生まれ、両親を泣かせたらしい。

太鼓練習をしなくて、親は何度も辞めさせようと思ったらしい。

でも、そんな事、僕は知らない。

太鼓が大好き！人が大好き！

自分が大好き！ディズニーが大好き！心のまま、太鼓を打ちます。

皆さん、応援して下さい。

